

図書館だより

●開館時間●

9:00 ~ 18:00

●12月の予定●

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■ 休館日

■ おはなし会

■ ひろたのみんなのおはなし会

■ にここほっぺのおはなし会

砥部町立図書館

☎ (962) 4400

年末年始休館日

12月28日(月)～1月5日(火)まで

新着紹介

『黄色い夜』 宮内 悠介
 『サキの忘れ物』 津村記久子
 『女だてら』 諸田 玲子
 『来世の記憶』 藤野 可織
 『オフマイク』 今野 敏
 『風を結う』 あさのあつこ
 『オールタイムズ』 本城 雅人
 『欲が出ました』 ヨシタケシンスケ



『百年と一日』
柴崎友香
筑摩書房 刊

地下街にはたいいてい噴水が数多くあり、その地下の噴水広場は待ち合わせ場所、何十年前も、数年後も、誰かが誰かを待っていた。人生と時間を描く新感覚物語集。『ちくま』連載に書き下ろしを加え書籍化。



『図書館の子』
佐々木讓
光文社 刊

とある北の国。猛吹雪の夜、図書館に1人の少年が取り残された。そこに突然現れた謎の男は少年を救い、大切なことを伝え始めた。時と戦い、時に翻弄される者たちを描く全6編。



『風に溺れる』
青羽悠
PHP 研究所 刊

仕事も恋愛も情性の日々を過ごしているOLの遙は、ある日、YouTubeで「バズっている無名のアーティストの曲を見つけた。だが、彼は1年前に亡くなっていて…。6人の人生を描いた青春小説。

みんなの人権

岡山社会教育課社会教育係
 ☎ (962) 5952

地域のかたがたと学ぶ人権・同和問題学習

(松山南高校砥部分校)

砥部分校は県下唯一のデザイン科単科の高校として、「自らを律せよ」を教訓に、「さわやかな目・豊かな心・確かな手」を指導目標として、生徒は日々デザインや工芸に関する学習に取り組んでいます。

本校の人権・同和教育で、ここ数年、特に力を入れている取り組みが二つあります。

一つ目は「部落問題を考えるフォーラム」への参加です。現存する差別の実態を知り、不合理さに憤りを覚え、差別解消への意欲を高めるよい機会となります。特に平成30年度には、フォーラムで学んだことを題材に、「部落差別解消を目指す動画メッセージ」を制作し、県で最優秀賞をいただきました。その後もこの動画は社会人研修や、ホームルーム活動に活用されています。

二つ目は「いじめSTOP!

愛顔あふれるえひめフォーラムへの参加です。昨年度は町での開催のため、分校生は各分科会の司会・進行など運営のお手伝いをしました。更に小西志歩元生徒会長が堂々と閉会宣言をし、参加者にいじめをなくそうと呼びかけました。今後は町内小・中学校で実施される「いじめストップ会議」に分校生がアドバイザーとして参加することを計画しています。一緒に人権問題について考えましょう。



閉会宣言をする小西志歩さん